

## 家庭科調査資料 作成の観点

書名  項目	○○○○ ○○○○○	発行者番号 発行者名
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                  ○家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関する内容について、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                  ○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現する等、課題を解決する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                  ○家庭生活を大切にしている心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b>                  ○家庭生活に関する内容について、実践的・体験的な活動を通して、実感を伴って理解する学習を展開するために、どのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○挿絵・写真・図表等、資料と本文の関係及び資料のレイアウトには、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○中心的な学習活動である実習を安全かつ効果的に進めるために、どのような工夫が見られるか。 ○タイトル・見出し・説明文などの使い方には、どのような工夫が見られるか。 ○用語・記号・図記号・単位・数値等の使い方には、どのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1>新しい家庭</h1>	2 東書
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材のはじめに、キャラクターによる吹き出しや、写真を示して、何を学ぶのかを意識しながら学習を進められることで、知識・技能の定着につながるように工夫されている。</li> <li>○小題材ごとに学習の「めあて」と呼応した「ふり返ろう」を設け、こまめに学習を振り返り、学習内容が定着するように工夫されている。</li> <li>○各実習に「できたかな？」の欄を設け、実習のポイントが自己評価としても活用できるように配慮されている。</li> <li>○学習・実習内容を基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列し、より確実な技能の定着を図るように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材のはじめに、「家庭科の窓」として生活を見つめる4つの視点を示すことで、生活の中から課題を発見しやすくなり、解決に向けて学び合うことができるように工夫されている。</li> <li>○題材を3つのステップで展開し、問題解決的に進められるようになっており、繰り返すことで定着を図り、実生活でも役立つことができるように工夫されている。</li> <li>○各ステップで活動の手順を示し、様々な学習活動を通して児童の思考力、判断力、表現力が育成されるように配慮されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入では、大きな写真やイラスト、キャラクターによる問いかけが掲載され、生活の中から課題を見つけられるように工夫されている。</li> <li>○「成長の記録」でポートフォリオとして、2年間の学びの記録を積み重ねることで、成長を実感し、生活の中でさらなる課題を設定できるように工夫されている。</li> <li>○第5学年の初期段階にSDGsに関するページが掲載され、学習とSDGsを関連付けて学習を進められるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活を変えるチャンス」では、学習のまとめとなるような事例が示され、それを基に学習を振り返ることで、実践的・体験的な学習の充実が図られるように工夫されている。</li> <li>○学習活動が段階的に設定されており、最後のステップ3で学習を深めることで、自分の家庭生活に結び付け、実践・体験できるように配慮されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードにアクセスすることで、画像を見ながら学習できるページが設けられている。題材の各ステップに合わせた資料や動画、思考ツールを使った考えの整理を助けるトライシート等が示されている。</li> <li>○「いつも確かめよう」として、衛生・安全に関するものを巻頭に提示されている。また、基礎技能に関するものを実習ごとのページや巻末に提示し、実習の場面で活用しやすいように工夫されている。</li> <li>○SDGsについての特集ページや特設サイトを設け、SDGsとの関連を意識しながら学習を進められるように工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全についての注意・喚起を促す「安全マーク」や食育・伝統文化を示す「日本の伝統マーク」、環境への配慮を示す「環境マーク」等、様々な学びとの関連を示すマークが使われている。</li> <li>○言葉の注釈には「言葉」と示して解説しており、他の題材や教科・学年の学習内容と関連する点には、「関連」や「リンク」を付して、学習の見通しをもつ場面が設けられるように工夫されている。</li> <li>○ユニバーサルデザインの観点から、罫線で区切りをしたり、字体の工夫をしたりして、さまざまな発達特性に配慮されている。</li> <li>○学習を導くキャラクターが学習のポイントを示唆するなど、児童の学習意欲を喚起し、主体的な学習を促すように表現が工夫されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材が「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで構成され、問題解決的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>○豊富なコンテンツを活用し、思考を可視化したり、他者と共有したりしながら、学んだことを生活に活かせるように工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1>わたしたちの家庭科</h1>	9 開隆堂
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「なぜ～だろう」など、題材のはじめに児童への問いかけや、フォトランゲージを掲載し、題材の見通しをもたせ、知識・技能の定着につながるように工夫されている。</li> <li>○題材のはじめに自分なりの課題の記述欄と、終わりには「生活に生かそう」を設け、学習内容が定着するように工夫されている。</li> <li>○各実習に「できたかな」の欄を設け、技能についての学習成果を確かめることができるように配慮されている。</li> <li>○日常生活に必要な基礎的な知識・技能を着実に身に付けるために、スモールステップで易しいもの順に実習を積み重ねられるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各題材のはじめに、生活に係る見方・考え方の中で特に関わりのある視点を示すことで、より深い学びにつながるように工夫されている。</li> <li>○題材毎に、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」で構成され、自分の生活の中から課題を見つけ、見通しをもって課題解決型学習が進められるように工夫されている。</li> <li>○「考えよう」「調べよう」「話し合おう」などの学びを深める小課題を設け、児童の思考力、判断力、表現力が育成されるように配慮されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入では、児童の関心を引く大きな写真やイラストを掲載し、問いかけの一文が付け加えられ、課題を見つけられるように工夫されている。</li> <li>○「生活の課題と実せん」や「2年間の学習を中学校につなげよう」など、小学校の学びを将来に向けて広げることができるように工夫されている。</li> <li>○安全・防災に関する特設ページ、各題材のマークや「なぜそうなの？」コーナーにより、生活の中でも安全への注意を意識できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活の課題と実せん」のページにおいて、それまでの学習をフィードバックすることで実践的・体験的な学習の充実が図られるように工夫されている。</li> <li>○3つのステップで学習を進め、最後の「生かす 深める」で学習したことを家庭でも実践・体験できるように配慮されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードにアクセスすることで、画像を見ながら学習できるページが設けられている。実習・製作に関わる映像や資料・ワークシートなど、学習内容を補完する資料が用意されている。</li> <li>○巻末に、材料・用具に関わる知識の他、各種実験などの科学的な資料や防災への備えについても掲載されている。また、左利き児童へも実習・製作時に対応できるように「利き手はどちら？」の資料が掲載されている。</li> <li>○キャリアインタビューコーナーや、中学校で行われている家庭科の授業の様子を写真等で紹介するページがあり、現在の学習が児童の将来への見通しに繋がるように工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全についての注意・喚起を促す「安全マーク」や環境への配慮を示す「環境マーク」等、取り組む視点を明確にするマークが使われている。</li> <li>○言葉の注釈には「言葉」と示して解説しており、他の題材や教科・学年の学習内容と関連する点には「関連マーク」や参照ページを示し、学習の見通しをもつ場面が設けられるように工夫されている。</li> <li>○ユニバーサルデザインの観点から、実習の流れを色分けしたり、字体や改行の工夫をしたりして、さまざまな発達特性に配慮されている。</li> <li>○年代や国籍など多様な人々をキャラクターとして文中に登場させて、多様性について配慮されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材毎に、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップで構成し、見通しをもって課題解決型学習が進められるように配慮されている。</li> <li>○スモールステップで取り組んだり、多様なコンテンツを用意して目で見て確かめたりしながら、基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。</li> </ul>	

## 家庭科 調査資料 2

### ○分量について

内容	東書	開隆堂
1 総ページ数 ※目録に記載されたページ数	150	154
2 挿絵、写真、資料等の総ページ数 (資料として活用するページ)	31	35
3 題材数	15	20
4 QRコードの数	68	67

### ○項目別ページ数について

#### < A 家族・家庭生活 >

内容	東書	開隆堂
(1) 自分の成長と家族・家庭生活	13	9
(2) 家庭生活と仕事	12	10
(3) 家族や地域の人々とのかかわり	9	10
(4) 家族・家庭生活についての課題と実践	6	9

#### < B 衣食住の生活 >

内容	東書	開隆堂
(1) 食事の役割	5	3
(2) 調理の基礎	28	23
(3) 栄養を考えた食事	10	9
(4) 衣服の着用と手入れ	16	15
(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作	27	26
(6) 快適な住まい方	19	19

#### < C 消費生活・環境 >

内容	東書	開隆堂
(1) 物や金銭の使い方と買物	10	8
(2) 環境に配慮した生活	11	8

### ○その他

内容	東書	開隆堂
1 製作品・調理実習の例示数	83	78
2 観察・実験、見学、調査、研究の例示数	83	76
3 安全・衛生に配慮する項目を取り上げている箇所数	27	37